

製品名: LRP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab01325**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 505 kDa; Observed MW: 85 kDa

抗原情報

遺伝子名	LRP1
別名	A2MR; alpha 2MR; Alpha 2 macroglobulin receptor; CD91; APR; LRP1; LRP85; TGFBR5
遺伝子 ID	4035
SwissProt ID	Q07954
免疫原	ヒト LRP1 の合成ペプチド

背景

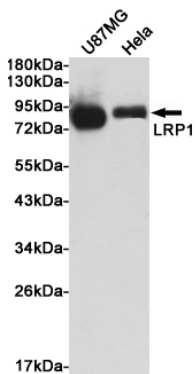
エンドサイトーシスおよびアポトーシス細胞の貪食に関するエンドサイトーシス受容体。初期胚発生に必須。細胞脂質の恒常性維

持に関与。カイロミクロンレムナントおよび活性化 LRPAP1 (α 2-マクログロブリン) の血漿クリアランス、ならびにプラスミノゲン活性化因子とその内因性阻害因子との複合体の局所代謝に関与。APP 代謝、キナーゼ依存性細胞内シグナル伝達、神経カルシウムシグナル伝達、神経伝達といった細胞イベントを調節する可能性がある。緑膿菌外毒素 A の受容体として機能する。

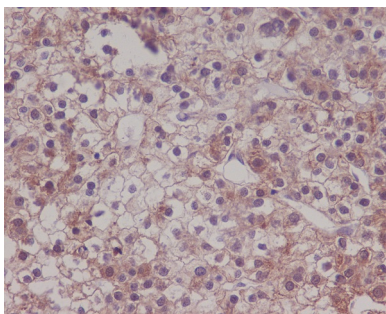
研究分野

神経科学

画像データ



LRP1 抗体を使用した U87-MG および HeLa 溶解物中の LRP1 のウエスタン ブロット分析。



LRP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。